



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社イノベーション 上場取引所 東  
 コード番号 3970 URL <https://www.innovation.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO 兼 COO (氏名) 富田 直人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 山崎 浩史 (TEL) 03(5766)3800  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,396	8.4	393	△19.0	395	△19.4	222	△14.9
2022年3月期第3四半期	3,132	50.3	485	58.0	489	59.2	261	30.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 174百万円 (△41.1%) 2022年3月期第3四半期 295百万円 (46.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	90.62	89.24
2022年3月期第3四半期	111.52	110.73

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,805	3,355	87.3
2022年3月期	3,769	3,022	79.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,321百万円 2022年3月期 2,979百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				39.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,550	26.7	830	6.7	830	5.8	475	6.0	185.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）INNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	2,525,900株	2022年3月期	2,399,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	37,366株	2022年3月期	44,066株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	2,460,150株	2022年3月期3Q	2,349,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化や外国為替相場での急激な円安進行等による資源・エネルギー価格の上昇とそれに伴う物価上昇等の影響等、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、創業以来培ってきた営業、マーケティング、そしてテクノロジーのノウハウを活用して、グループミッションである「働くを変える。」の実現に向けて法人営業の新しいスタイルを創造する事業の拡大に取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間の売上高は、営業を中心とした人材採用の強化と費用対効果の高い集客施策の実施に加え、テレワーク関連カテゴリにとどまらず多くのカテゴリで掲載製品数が増加したことが資料請求に大きく寄与したことから、オンラインメディア事業を中心に売上は拡大基調で推移いたしました。一方、国内外の株式市場の下落による金融プラットフォーム事業の収益力の低下が続いていること及び第2四半期連結会計期間より開始したVCファンド事業における費用が発生したこと等による結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,396,276千円（前年同期比8.4%増）、営業利益は393,815千円（前年同期比19.0%減）、経常利益は395,177千円（前年同期比19.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は222,942千円（前年同期比14.9%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の業績の詳細は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めておりますINNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合が提供しておりますVCファンド事業に関しまして、重要性が増したため第2四半期連結会計期間より独立表記しております。

#### (オンラインメディア事業)

オンラインメディア事業の主力である「ITトレンド」におきましては、当第3四半期連結累計期間の来訪者数（延べ人数）は15,385,033人（前年同期比11.1%増）となりました。また、掲載製品数が3,466製品（前年同期比45.8%増）となったことに伴い資料請求数が増加したこと等により、オンラインメディア事業の売上高は2,510,755千円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益は959,211千円（前年同期比21.3%増）となりました。

#### (ITソリューション事業)

ITソリューション事業の主力製品である「List Finder」におきましては、当第3四半期連結会計期間のアカウント数は495件（前年同期比2.3%増）となりました。また、アカウント当たりの単価が堅調に推移していることに加え、費用抑制対策が奏功したこと等によりITソリューション事業の売上高は359,558千円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は107,160千円（前年同期比49.8%増）となりました。

#### (金融プラットフォーム事業)

金融プラットフォーム事業におきましては、独立系フィナンシャルアドバイザーの増員等による体制強化に注力いたしましたが、国内外の株式市場の下落の影響から手数料収入を中心に大幅な収益力の低下を余儀なくされました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における金融プラットフォーム事業の売上高は521,687千円（前年同期比0.4%減）、セグメント損失は41,181千円（前年同期はセグメント利益93,436千円）となりました。

#### (VCファンド事業)

VCファンド事業は、第1四半期連結会計期間から新たに連結子会社となったINNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合が提供しておりますVCファンド事業であります。当第3四半期連結累計期間におきましては、投資先のバリュアアップやEXITによりファイナンシャル・リターン及び当社グループ事業とスタートアップとの協業を促進することによるストラテジック・リターンの獲得を目的として、ファンドを運用してまいりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるVCファンド事業のセグメント損失は92,733千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては3,805,179千円となり、前連結会計年度末に比べ35,683千円増加いたしました。これは主に、営業投資有価証券が181,086千円、前払費用が24,389千円、その他の流動資産が100,939千円、関係会社株式が18,467千円及び投資有価証券が31,773千円増加し、受取手形及び売掛金が294,978千円、ソフトウェアが12,061千円及び繰延税金資産が26,664千円減少したことによるものであります。

負債につきましては450,014千円となり、前連結会計年度末に比べ297,441千円減少いたしました。これは主に、買掛金が55,483千円、未払費用が63,272千円及び未払法人税等が194,964千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては3,355,165千円となり、前連結会計年度末に比べ333,125千円増加いたしました。これは主に、資本金と資本剰余金がそれぞれ111,671千円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益222,942千円を計上したこと及び利益剰余金の配当91,178千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日公表の「2022年3月期 決算短信」における業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,180,604	2,185,723
受取手形及び売掛金	704,020	409,042
営業投資有価証券	—	181,086
前払費用	54,405	78,794
その他	76,175	177,115
貸倒引当金	△449	△329
流動資産合計	3,014,757	3,031,432
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	13,757	13,035
工具、器具及び備品（純額）	5,420	8,600
有形固定資産合計	19,178	21,636
無形固定資産		
ソフトウェア	184,674	172,613
ソフトウェア仮勘定	30,991	37,343
無形固定資産合計	215,666	209,956
投資その他の資産		
投資有価証券	390,066	421,839
関係会社株式	6,600	25,067
従業員に対する長期貸付金	3,300	—
繰延税金資産	92,744	66,080
その他	27,809	29,853
貸倒引当金	△625	△686
投資その他の資産合計	519,894	542,154
固定資産合計	754,739	773,747
資産合計	3,769,496	3,805,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	183,924	128,440
未払法人税等	195,099	135
未払費用	172,287	109,014
契約負債	24,111	26,407
賞与引当金	2,299	37,694
その他	149,458	125,942
流動負債合計	727,181	427,634
固定負債		
株式給付引当金	20,106	20,543
その他	168	1,836
固定負債合計	20,274	22,379
負債合計	747,456	450,014
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,001,746	1,113,418
資本剰余金	981,156	1,092,828
利益剰余金	1,040,531	1,172,295
自己株式	△37,607	△31,932
株主資本合計	2,985,827	3,346,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,330	△25,110
その他の包括利益累計額合計	△6,330	△25,110
新株予約権	—	6,046
非支配株主持分	42,543	27,620
純資産合計	3,022,040	3,355,165
負債純資産合計	3,769,496	3,805,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,132,816	3,396,276
売上原価	1,554,540	1,777,031
売上総利益	1,578,275	1,619,245
販売費及び一般管理費	1,092,311	1,225,429
営業利益	485,963	393,815
営業外収益		
受取利息	1,516	8
助成金収入	4,319	1,100
手数料収入	131	1,676
雑収入	343	168
営業外収益合計	6,311	2,953
営業外費用		
支払利息	0	—
支払手数料	701	916
創立費償却	—	400
投資事業組合運用損	1,581	245
雑損失	—	29
営業外費用合計	2,283	1,591
経常利益	489,991	395,177
特別損失		
固定資産除却損	3,079	383
減損損失	—	52,709
特別損失合計	3,079	53,092
税金等調整前四半期純利益	486,912	342,084
法人税、住民税及び事業税	169,927	114,110
法人税等調整額	24,929	34,954
四半期純利益	292,055	193,019
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	30,062	△29,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	261,992	222,942



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	292,055	193,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,719	△18,779
その他の包括利益合計	3,719	△18,779
四半期包括利益	295,775	174,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,712	204,162
非支配株主に係る四半期包括利益	30,062	△29,922

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2022年12月20日開催の当社取締役会において、当社子会社の株式会社Innovation M&A Partnersの資本増強を目的として、同社に対する貸付金50,000千円を資本化(デット・エクイティ・スワップ)することを決議し、2023年1月1日に実施いたしました。